

0 次期教育振興基本計画のコンセプト

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響とロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化（予測困難な時代）
⇒ 浮き彫りになった課題と学校・教育の役割、学びの容容
- 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出すための教育の実現にむけた個別最適・協働的な学び、学習者主体、「自立」、「協働」、「創造」という基軸の発展的継承
⇒ 共生社会の実現、多様な個人と地域や社会のウェルビーイングの実現
- グローバル化、少子化・人口減少の中で、持続可能な社会の発展を生み出す人材の育成
⇒ 主体的な社会形成参画、生涯学び続ける学習者、課題の発見・解決のための学びをいつでも受けられる環境整備
- デジタルトランスフォーメーション（DX）を教育・学習全体の中に組み込む

これらを通じた Society 5.0の実現

I 我が国の教育をめぐる現状と課題

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

▶ 教育振興基本計画は、予測困難な時代における我が国の教育の方向性を示す羅針盤となるもの

第3期計画期間中の成果	第3期計画期間中の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善と支援スタッフの充実 等 ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、認証評価のための法改正、連携・統合のための体制整備 等 ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や長寿命化、耐震化の実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でのグローバルな人的交流の減少や体験活動の停滞 ・いじめの重大事態の発生件数や児童生徒の自殺者数の増加 ・学校における長時間勤務や教師不足 ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化 ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷 ・教育改革に対する大学間の取組差、博士課程進学率の低さ 等

社会の現状や変化への対応

- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・新型コロナウイルス感染症、学校の福祉的役割
- ・社会のDXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・国際情勢の不安定化
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・共生社会・社会的包摂
- ・18歳成年・こども基本法

等

II 今後の教育政策に関する基本的な方針

- ・誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す学びを日常の教育活動に取り入れることにより、一人一人のウェルビーイングを向上
- ・子供が抱える課題が多様化・複雑化する中で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実やマイノリティの子供の強みに着目するエンパワメントの視点により、多様性、公平・公正、包摂性（DE&I）ある共生社会の実現に向けた教育を推進
- ・調和と協調ある日本型ウェルビーイングとして「主観的な幸福感」「開放的協調性と多様なつながり」「自己肯定感と自己実現」を重視
- ・教師のウェルビーイングの確保、社会教育を通じた地域コミュニティを基盤としたウェルビーイングの実現
- ・組織の境界を越えた学び合い、風通しの良い組織形成を重視し、同調圧力への偏りから脱却

①日本型ウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・気候変動などの地球環境問題や都市と地方の格差などの社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上に向けて、「人への投資」が必要
- ・グローバル化が進展する中で、持続可能な社会の創り手の育成に向けて、留学等の国際交流活動や大学等のグローバル化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・主体的社会参画意識の醸成や、デジタルやグリーン等の成長分野の人材育成に向けて、課題解決型学習やキャリア教育、探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・人生100年時代のマルチステージにおける、学校における学びの多様化やリカレント教育の推進

②グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、高齢者を含むすべての人のウェルビーイングを向上。障害者の生涯学習機会の拡充に向けた取組推進

③地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現に向けた教育の推進

- ・DXに至る3段階（電子化(Digitization)→最適化(Digitalization)→新たな価値(DX)）において、当面、第3段階を見据え、そのイメージを持ちながら、第1段階から第2段階への移行を着実に推進
- ・教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進
- ・各学校段階に応じ、情報活用能力の育成、校務DXを通じた教育データ利活用・働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、GIGAスクール構想、DX人材の育成等を更に推進
- ・デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- ・経済的・地理的状況によらない学びの確保、指導体制・ICT環境等の整備、学校における働き方改革の更なる推進、NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保
- ・各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

III 今後の教育政策の遂行に当たって特に留意すべき事項、IV 今後5年間の教育政策の目標と基本施策（今後議論）